

雲の上のまち



た報

わかすはら



四国カルスト姫鶴平付近から朝日を望む

新年のあいさつ 〈P2〜〉

冬の感染症にご注意！ 〈P10〜〉 etc...

新年号

2017 〈平成29年〉
No.703

●世帯数/1,813 (11月末)
●人口/3,636 (11月末)

謹んで新年のお祝いを申し上げます

昨年は大変お世話になりましたありがとうございます
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
平成二十九年 元旦

梶原町長 矢野 富夫



昨年は、厳しい寒さの中にも穏やかな年の始まりでありましたが、出納事務における不正経理により町民の皆様への信頼を大きく裏切ることとなりました。二度とおこさないために事務処理の仕方や倫理規程の制定など信頼回復に全力で取り組んで参りますので、どうか、今後ともご指導・ご支援をお願い申し上げます。

ギョースケートなど世界大会で日本人が活躍し勇気と元気をいただいた年でもありました。国政では、18歳からの選挙権となり、高知県と徳島県が合区となる参議院議員選挙が行われ、8月3日には第3次安倍再改造内閣が発足し、高知県選出の山本有二農林水産大臣が誕生いたしました。

昨年、全国各地では地震や火山噴火、台風、集中豪雨などにより、被害が続出し多くの尊い生命が奪われました。あらためてお亡くなりになりました方々のご冥福と被災されました方々にお見舞い申し上げます。

また、国際関係では、アメリカの次期大統領にトランプ氏が選出され、韓国も新しい大統領に変わろうとしており、日本を取り巻く環境が大きく変わろうとしております。そうした中で、本町は、町制施行50周年を迎え、20年から25年前の梶原人からタイムカプセルを通じて熱いメッセージをいただきました。あらためて、決断と実行を繰り返し「ゆすはら」を守り、育て、築いてきた先人に敬意と感謝をし、未来に向かって、伝統文化を引き継いでいく決意をしたところであります。また、地方創生・梶原の生きる仕組みづくりが、大きく進んだ年でもありました。

一方で、大隅氏のノーベル生理学・医学賞の受賞をはじめリオオリンピック・パラリンピック、卓球、フィ

「在宅介護への支援」「雇用の確保」「有害駆除」などの不安の解消に努めるとともに、「子育ての支援と教育の充実」を目指して全力で取り組んで参りました。また、2日間で3万人を超える方が訪れたグルメまつりをはじめ、高原まつり、脱藩マラソン、芸術祭及び高幡5市町連携の四万十博が交流人口の拡大につながっています。さらに、移住・定住対策として空き家改修や産業担い手育成塾の創設により人の流れが大きく変わって参りました。

「命の道の整備」「合併浄化槽の設置」

6区に集落活動センターが設立され、いよいよ住民主導のまちづくりがスタートします。また、「梶原町社会福祉協議会の事務所」は29年、「ゆすはら森の中のまると図書館」及び「ゆすはら複合福祉施設」が30年に完成し、新たな生きる拠点が生まれます。

また、妊産期から出産まで安心して子育てができる「ゆすはら子育て世代包括支援センター」を立ち上げるとともに、一貫教育センターを充実させ学力向上に努めて参ります。

さらに、県下様々な機関と連携しながら「志国高知幕末維新博」に取り組んで参ります。本年は、人づくりの原点を見つめ、「この地で一生過ごしたい」を実現するために、過去に学び誇りと自信をもって、様々な取り組みを積極的に

進めながら、町制施行100年に向かってスタートしたいと考えております。こうした次につながる考え方や取り組みが出来ますのも、土釜議長を始め議員の皆様、各種団体、各区長を始め町民の皆様さらに、国、県、大学及び企業、ゆすはら未来大使等多くの方々のご指導ご支援によるものであり、あらためまして皆様方に、衷心より敬意と深く感謝を申し上げます。

これまでいただきました数々のご要望やご提言をしっかりと受け止め町民の皆様方の不安の解消と経済の活力に向けて本年も全力で取り組んで参りますので、この上とものご叱声のご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

町長 矢野 富夫

副町長 吉田 尚人

外職員 一同

監査委員 山口 敏

川上 寿久

梶原町役場

謹んで新年お祝い申し上げます

みなさまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます
平成二十九年 元旦

梶原町議会議長 土釜 清



平成29年の年頭に当たり、梶原町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日ごろから町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私たち議員8名が町民の皆様の信託を受け、町政の発展に取り組み始めてから2年目の折り返しを迎えようとしております。日ごろから

- ① 住民全体の代表者である
- ② 執行機関と一歩離れ、二歩離れる
- ③ 批判するには代案をもってせよ
- ④ 実質的な審議が大切
- ⑤ 住民の声や心を代表する
- ⑥ 勇気と奮起が政治家の要素

を議員の心構えとして活動しているところであります。

この間、様々な出来事がありました。国内経済は、地方創生関連・1億総活躍社会として新3本の矢と銘打つ

た「まち・ひと・しごと創生」事業、経済政策への期待などで景気回復に明るい兆しが見えておりますが、地方公共団体においては、自主財源の確保や効率的な行財政運営がより一層求められるとともに、地方分権の進展により地方公共団体が担う役割も増大し、より地方行政の真価が問われてきています。議会といたしま

しても、町当局と互いに協力しあい、町政発展に向けて全力を傾注する覚悟を新たにしているところです。また、昨年のように、職員の不祥事等で町民の皆様の信頼を損なうことがないように、信頼回復のため議会、執行部、職員一同が必死になって職務に努めてまいります。

いよいよ本町待望の図書館、複合福祉施設の建設事業に着手しました。それぞれの施設が、地域に根づいた誰もが気軽に利用できる施設になることを大いに期待しているところであります。

今、まちづくりは時代の潮流とともに斬新な発想を必要としており、未来を切り拓いていくには私たち議員にも新たな時代感覚と崇高なビジョンを持つて一翼を担っていくことが求められております。

現在進めている「梶原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が、次代を創る子どもたちのための基本となるよう、私たちは責任世代としての役割をしっかりと担い、町民一人ひとりが誇り高く、「このまちに住んで良かった」と実感できるまちづくりに、これからも全力を傾注して参ります。

結びに、平成29年の干支は「酉」であり、「酉」のつく年は商売繁盛、取り込むに繋がると言われ、運氣も、人も取り込めるといふものであるそうです。どうか本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして、希望に満ち溢れた素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



梶原町議会

議長 土釜 清
副議長 土釜 岩

議会運営委員会

委員長 川上 久雄
副委員長 高橋 文俊
委員 下元 俊久
川上 久雄
高橋 文俊
中岡 基俊
西川 慶久

総務教育厚生常任委員会

委員長 高橋 文俊
副委員長 二宮 近基
委員 川上 久雄
土釜 清
川上 久雄
土釜 清

産業建設常任委員会

委員長 下元 俊
副委員長 西川 慶久
委員 土釜 岩
中岡 基俊
土釜 岩
中岡 基俊

議会広報編集委員会

委員長 西川 慶久
副委員長 川上 久雄
委員 下元 俊
川上 久雄
高橋 文俊
二宮 近基
中岡 基俊
市川 岩

謹んで新年のお慶びを申し上げます

明けましておめでとございます

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます

平成二十九年 元旦

梶原町教育委員会 教育長 久保 栄 八



旧年中は本町の教育行政にご支援・ご協力賜りまして、厚く感謝を申し上げます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、新教育委員会制度が施行され、教育委員長と教育長が一本化され、昨年8月1日より新教育長として就任いたしました。

今後とも梶原町の教育の発展と充実に努めて参ります。

どうぞよろしく願います。

さて、第六次梶原町総合振興計画の六つの目指す社会の中の「自信あふれる梶原人を育てる教育の確立した社会」並びに「人の尊厳が守られた社会」並びに「人の尊厳が守られた取り組みの一つとして、町内全域を学びの場として位置づけた「ゆすはら森の中のまるごと図書館」づくりに向け、旧梶原小学校跡地を拠点とする図書館について、平成30年2月の完成、4月開館予定に向けていよいよ工事が着工となりました。そして、ソフト面においても運用や図書館ネットワーク等について準備に入っております。

梶原学園では、小中一貫教育の取

り組みも6年目を迎え、4・3・2のまとまりを大切にしながら9年間の系統的な教育の構築を目指し取り組んでおります。小学5、6年生は中学校教員による教科担任制の乗り入れ授業の導入や、学力向上マップ・個人カルテの作成、9年生は習熟度別少人数学習による授業、研究主題・学習規律を小中で組織的に統一するなど、小中一貫校ならではの取り組みの充実を図ってきました。

そして、学校図書館支援員を継続で配置し、図書室の環境の充実など、教育の基礎部分の充実に取り組んで参りました。

英語教育の充実のため、中学生の夏休みの海外研修については、オーストラリア研修に加えまして、町単独事業でイギリス研修を継続して実施し、生徒の英語力向上とコミュニケーション能力を身に付けるために努めて参りました。また、外国語指導助手を保幼小中学校へ配置し、英語に親しみ、英語力の定着と向上に向けた取組を進めて参りました。

幼児教育に関しては、「幼保連携型認定こども園」を設置して2年目と

なり、これまで同様に保育料・幼稚園授業料・給食費の無料化に併せて、開所時間の延長など、子育て支援の充実に取り組みました。

また、幼小連携教育を推進するため、幼児教育アドバイザーとして日向國雄氏にお越しいただき、これまでの経験も生かしながら梶原型の幼児教育にご尽力いただいております。

小学校とこども園との教職員の相互職場体験研修を通して、お互いの情報交換の場や機会を持ち、子どもたちの実態、課題等の情報の共有化を図っております。

このように人間力の育成に向けて取り組み、小学校就学へとつなげる「学びの連続性」を確保していくよう取り組んでおります。

1月21日に逝去されました。野口先生におかれましては、梶原学園を中心として一貫教育に取り組む本町の教育振興にその人間愛にあふれる優しさで凛とされた指導助言をいただきました。心からご冥福をお祈りいたします。

生涯学習におきましては、生涯を通して豊かな人生をおくるための学習、心身ともに健康をめざしたスポーツの推進、芸術・文化振興等の支援、各種社会教育団体への支援を行っています。

地域ぐるみの取り組みである学校応援団の活動では、地域の皆様のご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。本年度からはコミュニケーションスクールを導入してまいりますので、今後更に多くの地域の方々が学校に関心をもつていただき、地域の子どもたちを地域全体で育てていくことを目指して取り組んで参りますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からご記念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

梶原町教育委員会

- 教育長 久保 栄 八
- 教育長職務代理 岩 本 直 也
- 教育委員 吉 門 志 茂
- 掛 橋 水 和
- 矢 野 陽 子

謹んで新年お祝い申し上げます

輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます
本年もよろしくお祝い申し上げます
平成二十九年 元旦

高幡消防組合 梶原消防団 団長 森 田 耕 一



地域の皆様には、平素より我々消防団、女性消防隊、少年消防クラブそして梶原こども園幼年消防クラブに暖かいご支援、ご協力をいただきまして、衷心より厚くお礼申し上げます。また、団員・隊員の皆様には火災をはじめ各種の災害から地域の安心・安全を守るため昼夜を問わず献身的にご尽力いただき感謝申し上げます。

昨年各各地で、自然災害が後を絶たず、各地で甚大な被害をもたらしました。

4月には熊本県で震度7の地震が発生し、建物の倒壊や土砂崩れなどにより多くの人的、物的被害が発生しました。

8月には台風が東北地方に連続して上陸し、記録的な大雨となり土砂崩れや浸水などにより多くの被害をもたらしました。

10月には鳥取県中部で震度6弱の地震が発生し、建物倒壊などの被害が発生しました。

昨年の災害によって犠牲となられた方々に対しまして心よりご冥福をお祈り申し上げます。

本町においては、4月に建物火災が発生しましたが、早期の発見、通報により部分焼に止め、被害を最小限にする事が出来ました。近年は、台風や活発な前線による集中豪雨が頻発しています。早めの避難をお願いします。

昨年の消防団及び女性消防隊の活動は、2月7日に出初式、4月3日には入団式を行い、11名の新入団員を迎え、幹部に辞令交付を行いました。

4月24日には4回目となる梶原消防団と愛媛県久万高原町消防団との合同訓練を久万高原町柳谷地区で住宅火災を想定した消火訓練を実施しました。同じく4月には高知県消防大会が県民体育館で開催され、「消防庁長官表彰永年勤続功労章」1名、梶原消防団が「高知県知事表彰(竿頭綬)」、「高知県知事消防団員配偶者功労感謝状」を披露及び受賞された事は誠に喜ばしいことであります。

7月3日、恒例の梶原消防団・女性消防隊連合演習を開催し、消防団員の日頃の訓練成果を遺憾なく発揮しました。

8月21日、第20回高幡消防組合総合演習が津野町B&G海洋センターで開催され、高幡消防組合救助隊による倒壊家屋からの救出訓練、模範操法では、梶原消防団第3分団による小型ポンプ操法、梶原学園少年消防クラブによる軽可搬ポンプ操法の披露を行いました。

9月25日、高陵消防連合会・ソフトボール大会が須崎市で開催され他の消防団と大いに親睦を深めました。

10月2日、梶原消防団危険予知トレーニングが開催され、班長以上82名が参加し災害現場に潜んでいる危険を見抜きの確な行動がとれるよう研修を行いました。

装備充実につきましては、坂本川と竹の藪の2カ所に40t防火水槽を新設し、より迅速な消火活動が可能となりました。

3月末に長谷部前団長が勇退され、後任として梶原消防団長を拝命致しました。何分若輩であり、歴代の団長各位には到底およびませんが、防火防災意識を忘れず、団員及び女性消防隊一同、町民の皆様の生命及び財産を災害から守り、安心安全な町づくりを目指して精進してまいりますので、どうか皆様方のご指導ご鞭撻、そしてご協力をお願い申し上げます。この1年が無火災と無災害でありますと共に町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



高幡消防組合梶原消防団

団 長	森 田 耕 一
副 団 長	川 上 博 史
副 団 長	中 越 義 明
第一分団長	神 明 男
第二分団長	氏 原 悦 夫
第三分団長	村 田 澄 夫
第四分団長	中 越 澄 夫
第五分団長	那 須 章
消防主任	那 須 章

梶原町女性消防隊

隊 長	大 崎 和 江
副 隊 長	廣 瀬 吾 紀 子
副 隊 長	川 上 ま ゆ み
書 記	西 村 典 子
会 計	西 村 典 子

新春のおよろこびを申し上げます

皆様にとりまして幸多き年でありますようお祈り申し上げます
本年もよろしくお願い申し上げます
平成二十九年 元旦

梶原町森林組合代表理事組合長 森 山 真 二



昨年中は組合事業推進につきましてご支援ご協力賜りまして、深く感謝を申し上げます。

3月の総代会におきまして、19年の長きにわたり森林組合を牽引してこられた前中越利茂組合長の後任として選任を受けました。何分にも経験知見に乏しく未熟ではありますが、皆様からのご意見ご指導をいただきながら、健全な事業推進に努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

はら丸ごと龍馬の森の木」としての利用提案をして参りました。新国立競技場はスギ・カラマツといった木材と鉄のハイブリッド屋根構造を採用し、内装等においてはCLT(直交集成板)を活用する見込みとなっており、梶原町内のFSC森林認証木材利用を期待しているところです。

また高知県では、平成28年度から平成31年度までの4年間を計画期間とする「第3期高知県産業振興計画」を策定しました。

さて昨年の国際情勢については日本を取り巻くアメリカや中国、EUやロシアといった大国の経済情勢が混乱する中、平成27年度森林林業白書において木材自給率が30%台まで回復したことは、近年人工林の森林資源の充実、合板原料としての国産材利用の増加等を背景に国内生産量が増加傾向にあり、これに伴い木材自給率も上昇傾向にあったと思われます。また、発電施設における木質バイオマス利用量が増加しており、山村地域経済の活性化への寄与が期待されています。

国内においては、平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会の関連施設に木材を利用していたために、昨年4月には新国立競技場建設に関わられる大成建設(株)様へ、町長と共に「ゆす

れ事業体の雇用の創出と所得向上に応援を戴いているところです。

さて昨年の組合事業では、FSC森林認証が平成12年に認証を取得して16年目を迎えることとなり、11月には、FM森林認証(認証面積14,412ha)及びCOC加工流通過程認証(森林価値創造工場)についての年次監査を受けました。引き続き自然環境に優しい森林整備の実践や持続可能な林業経営を目指し、FSCブランドによる梶原産材の販路拡大に努めて参ります。

販売事業では素材、ペレット原材料の取扱量も順調に推移し、梶原町水源地域森林整備交付金の助成もあり、組合製材工場への原木供給、町外への素材販売も順調に進捗しており、ゆすはラレット工場の原材料供給も在庫ができるほどになりました。

また、高性能林業機械の導入後、利用間伐を中心とした林産事業を拡充させ、人材の確保・育成を進めるとともに、林内路網の整備を進めて参りました。

加工事業では、四国島内、関西地域の工務店などとの販売ネットワークを構築し、家族単位やバスツアーを受け入れ、使用する原木の伐採祈願祭、製材工場の見学会や関西方面での工務店主催のセミナー等に参加し、安心・安全な梶原産材で住宅を建築される施主様が増加し、製品市場が厳しい状況の中で一定の販路拡大に成果をあげることができました。29年度の管理部門では、「中期経営

計画」を見直し実行してまいります。また、人材養成では、森林施業プランナーや緑の雇用・町森づくり担い手育成塾による伐採・搬出、加工技術の後継者、水源林育成士などの人材育成を行います。

森林整備・販売部門では、森林資源を活用し、地域経済を活性化させるため、高知県、梶原町の指導を得て、林業事業体、自伐林家との連携を強化して、作業道の開設・皆伐を含め利用間伐を推進して参ります。

加工部門ではFSC認証ブランドによる顔の見える家づくりをさらに進め、新たな分野への安心安全な地域産材の販売に努力をして参ります。

本年度も、引き続き厳しい状況が予想されますが、役員員一致結束して事業を推進して参りますので、組合員を始め関係機関の皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。

梶原町森林組合

- | | |
|-------|-------|
| 組合長理事 | 森山真二 |
| 理事 | 中越利茂 |
| 〃 | 下村繁男 |
| 〃 | 山口敏 |
| 〃 | 吉村満寿夫 |
| 〃 | 竹倉茂一 |
| 代表監事 | 山本浩辰 |
| 監事 | 中平俊一 |
| 〃 | 片岡幸作 |
| 〃 | 西村壽勝 |
| 参事 | 外職員一同 |

謹んで新年のお慶びを申し上げます

本年が皆様にとりまして、輝かしい一年でありますようお願い申し上げます。本年もよろしくお祈り申し上げます。平成二十九年 元旦

梶原町商工会会長 長山和幸



町民の皆様には、日ごろより商工会活動にご協力くださり誠にありがとうございます。我が国の経済状況は次期アメリカ大統領がトランプ氏に決まり、不透明感はあるものの官公需の下支えのもと、緩やかな景気回復基調が続くと言われています。

の広報も大変重要な事のひとつだと考えています。これからも町行政と連携を密にし、一つひとつの事業を確実に取り組んで参ります。今後もより一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

公共投資や「地方創生」事業を始め「2020東京オリンピック」関連の事業もますます増大していくと予想されます。高知県でも、緩やかに回復しつつあると発表されています。しかしながら、個々の中小企業、小規模事業者を取巻く環境は依然厳しい状況が続いています。本町のような中山間の零細企業や商店は、ますます厳しさが増しているのが現状です。

観光交流事業におきましては、昨年は「奥四万十博」が開催され観光客増につながり、本町でも外国の方の観光客もチラホラ見かけるようになりました。今年も「志国高知幕末維新博」が3月から、平成30年まで2カ年に渡って開催されます。サブタイトルは「時代は土佐の山間より」まさに梶原のための博覧会ではないかとも思っています。今まで培ってきたものをより一層磨き上げ、出ている課題を解決していき、町外から来ていただいたお客様を梶原ファンにしていく取り組みを強めていきます。さらに、観光協会設置への取り組みを町と共に進めていきます。

今一度、商工会の基本に帰り町と共に梶原で経済活動を行い、ここで町民の皆様と共に暮らしていくこれからの方向性、手だて、仕組みづくりを考える時期だと考えています。商工会では、様々な事業を行っています。ですが、どのような事業を本町商工会で行っているのか、他町村との違いはどこなのか、各会員様にどのような支援ができるのか等、会員内外へ

また、様々な町行政施策、移住定住対策を始めこれから将来に渡り本町に人が住み続けていく施策等々、行政や各種団体とより一層の繋がりをもち地域振興に共に取り組んで参ります。

本町では、「高原まつり」や「ゆすはらグルメまつり」「龍馬脱藩マラソン」等々イベントを行っています。商工会も重要な役割を担っています。町民の皆様よりお声をいただきき目的にあったよりよいイベントに出来るよう努力をして参ります。

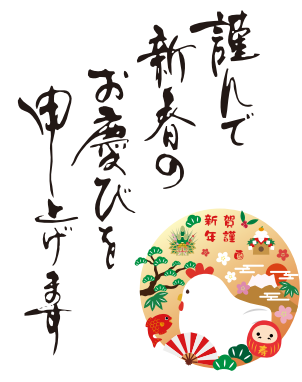
商工会では、会員の皆様に事業計画作成や各補助事業、金融の紹介や斡旋、記帳指導等様々な取り組みを行っています。消費税率の10%や、その時の軽減税率の経理方式や、「マイナンバー制度」の運用開始により雇用管理等適切な措置が必要です。近年、特に商工業に関わる税制が改定されており、最新の情報提供やお問い合わせに迅速に対応できるよう研修をして参ります。何よりも会員様にとって必要な信頼される商工会となるよう努力して参ります。

梶原町商工振興協同組合では、指定管理者として、雲の上の施設群を運営しています。また、学校給食をはじめ福祉施設に食事を提供する事業を受託しており70名近くの雇用をしています。この事は地域経済と地域の雇用を守るといふ目的で行っています。まだまだ不十分な所が多いと思いますがこれからの目的を忘れず、安心・安全を第一に、外貨を稼ぎ地産地商や雇用の確保に力を注いでいきます。

今年が皆様にとりまして、健やかに素晴らしい一年でありますようにご祈念申し上げます。幸多い年となりますように！

梶原町商工会

会長	長山和幸
副会長	山本浩辰
理事	西岡利晃
〃	中村俊夫
〃	西川陽子
〃	アウテンボーガルト千賀子
〃	下元正八
〃	中山博行
〃	安井謙二
〃	木下健一
〃	上川健一
〃	中越貞幸
〃	中越哲臣
〃	那須孝幸
〃	戸梶庄美
〃	中山一郎
〃	千光寺俊和
監事	外職員一同



各種団体・機関等 ※順不同

梶原町区長会

会長(東区) 西川 豊正
 副会長(初瀬区) 矢野 敬明
 区長(四万川区) 川上 光章
 (越知面区) 空岡 則明
 (西区) 西村 建雄
 (松原区) 松山 榮喜

梶原町農業委員会

会長 村田 澄夫
 会長職務代理 高橋 正知
 委員 沖田 孝幸
 神明 繁幸
 中平 紀善
 岡林 勝
 下元 秀俊
 前田佐代子

梶原町民生委員・児童委員協議会

会長 西村 正義
 副会長 高橋 勝也
 委員 竹倉 政恵
 中越 泰子
 渡辺 瑞枝

梶原町選挙管理委員会

委員長 坂本 重男
 委員長職務代理 西村 茂則
 委員 西村 朗
 中岡 倫

高幡消防組合津野山分署

分署長 下元 啓自
 副分署長 那須 章
 西森 文啓
 外消防職員一同

梶原町交通安全町民会議

会長 矢野 富夫
 副会長 土釜 清
 長谷部 悟
 山中 照亞
 川上 壽雄
 沖田 純輔
 西森 峰雄
 西森 建基
 下元 保市
 上川 渉

梶原町魚族保護会

会長 影浦 賢
 副会長 西村 要吉
 委員 村中 秀之
 戸田勇次郎
 山中 照亞
 松浦 博務
 中越 譽
 明神 武美
 氏原 昇佐

交通安全指導員

戸梶 隆光
 中越 浩一
 坂本 重男

社会福祉法人カルスト会

理事長 中越 平
 副理事長 岡田 量
 西村 正義
 西川 豊正
 松山 榮喜
 空岡 則明
 山口 敏
 矢野 豪佑

行政相談委員

志手 功
 西川 慶男
 高橋 基文
 吉村 武男
 松山 虎光
 松山 薫

人権擁護委員

下元 一利
 中越 秀子
 中平 宏

梶原町保護司会

会長 志手 功
 高橋 勝也
 市川 吉朗
 松山 榮喜
 片岡 幸作
 氏原 昇佐

身体障害者相談員

前川 宣子

知的障害相談員

高橋 栄子

梶原町衛生組織連合会

会長 永橋 信弘
 副会長 西村 寿数
 川上 政志
 中岡 倫
 宮本千恵子
 田辺 良一

健康文化の里づくり推進員

10期生会長 高橋 正知

梶原町手をつなぐ親の会

会長 高橋 正知

身体障害者連盟

会長 宮本 友和

戦没者遺族会

会長 中越 計清
 副会長 下元 保市
 婦人部長 明神 治子
 会計 西岡 一雄
 監事 川上 寿久
 二宮 吉永

あゆみの会

会長 藤原 良男

梶原町環境美化推進組合

組合長 島崎 勝男
 副組合長兼会計 川村 善雄
 理事 岡村 聖
 神明 靖
 西岡 利晃
 中越 譽
 中越 誠
 岡林 勝
 氏原 達子
 久岡 亀一
 若宮 康秀
 中越 大善

梶原町広報委員会

委員長 上田 末喜
副委員長 石川 真帆
委員 中平 俊一
山崎恵利加
西村 幸美
吉田 尚人

梶原町人権教育研究協議会

会長 高橋 志治
副会長 堅田 謙洋
掛橋 幸
山下 聖

梶原町青少年健全育成町民会議

会長 志手 功
副会長 久保 栄八

梶原町文化協会

会長 久岡 智子
副会長 影浦 賢
氏原 隼雄
二宮 幸加
高橋 正知
前川 宣子

梶原町エプロン会
(食生活改善推進協議会)

会長 中越 雅子

げらげら家族会

代表 掛橋 培子

梶原町精神障害者家族会

会長 長山久美子

社会教育委員・公民館運営審議会

委員長 西川 豊正
副委員長 久岡 智子
委員 西川 慶男
下元 秀俊
長山 和幸
中越 順市
堅田 謙洋
志手 功
花田 浩征
西村 正義
坂本 重男
堀 情二
山口眞知子
二宮 健志
河野 広和

梶原高等学校校長

高橋 志治

梶原町老人クラブ連合会

会長 中越 順市
副会長 山中 照亞
津野 壽正
田邊 盛幸
川田 節子
森山 定幸

梶原ゲートボール連合会

会長 岩本 直也
副会長 杉坂 博
上田 夏美

NPO法人 梶原竹ぼうきの会

理事長 中越 計清

NPO法人 絆

理事長 矢野 豪佑

津野山神楽保存会

会長 矢野 富夫
副会長 掛橋與四郎
氏原 峰春
中越 計清
前田 稔
中越 定一
吉田 尚人
久保 栄八
川上 寿久
中越 和仁

津野山畜産公社

場長 永尾健一郎

梶原町婦人会

会長 山口眞知子
副会長 広瀬 妙子
上田 知子
中山 昭子
岡林美枝子
掛橋 初子

津野山広域事務組合
クリーンセンター四万十

職員 山下 正貴
下村 昭太

シルバー人材センター

会長 掛橋 勤

梶原町スポーツ推進委員

委員長 西村 俊二
副委員長 谷田 真吾
委員 氏原 昇佐
藤井 順
中平 則一
川田 篤史

梶原町連合青年団

团长 二神 貴登
副团长 下元 慶太
堀 情二
朝比奈青里花

株式会社雲の上

代表取締役社長 矢野 富夫
工場長 大野喜美男
職員 中越 祥子
下村 秀仁

高知県高幡食品衛生協会梶原分会

分会長 新谷 章男

梶原町社会福祉協議会

会長 矢野 豪佑
副会長 中越 郁子
理事 中越 平
橋田 淳一
西村 正義
西川 豊正
樋口 益也
山口 敏
高橋 正和

梶原町文化財審議会

会長 西村 信明
副会長 神明 靖
委員 沖田 裕次
下村 和正
土谷 善昭
松山 榮喜

梶原町体育会

会長 坂本 重男

よつば会

会長 中越 緑

冬の感染症にご注意！

インフルエンザとノロウイルス胃腸炎

1月になりました。新しい1年の始まりの月、様々な抱負や目標に向けて毎日を健やかに過ごしたいものです。

しかし、冬の寒さと乾燥には要注意。気温と湿度の低下は、私たちの体に影響を及ぼすだけでなく、空気中のウイルスにとって活動しやすい環境を作ります。冬には気温・湿度が低下し、屋内でも人との接触が頻回となるためウイルス感染症が増加します。

感染しても3分の1から2分の1の人には症状が無く、また症状があっても軽く医療機関を受診しない人がいるので、実際の感染者数はさらに多いと考えられます。このため、冬の感染症予防策は特に重要です

インフルエンザ

■感染ルートはおもに2つ

①飛沫感染

感染者のくしゃみや咳の飛沫が飛び散り、そこに含まれるウイルスを吸い込み感染。

②接触感染

ドアノブや手すりなどに接触することで、手にウイルスがつく。その手で目や口をさわったり、粘膜から侵入して感染。

■予防するためには

①手洗い

外出後は流水で手を洗い、ウイルスを流しましょう。アルコールを含んだ消毒液で消毒するのも効果的です。

②うがい

洗浄効果のほか、のど粘膜が潤うのでウイルス防御力が高まります。

③予防接種を受ける

免疫力が低下すると感染しやすくなったり、重症化しやすくなる恐れがあります。日ごろから十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。

■インフルエンザの時に気をつけたいこと

○発症直後から38℃以上の高熱があり、咳、のどの痛み、関節痛

■症状

○おもな症状は激しい嘔吐や下痢。人によっては発熱や頭痛などを伴います。感染から1〜2日でこうした症状が現れ、通常は3日ほどで回復しますが、回復後もしばらくウイルスの排泄が続くので注意が必要です。

○わずかに100個以下のウイルスでも感染力が強いため、集団感染につながる恐れもあります。

○抵抗力の弱い乳幼児や高齢者などでは重症化することもあります。脱水症状や吐物による窒息、誤飲などで死に至る事もあります。ので、特に注意が必要です。

■家庭などでできる予防対策

①「手洗い」をしつかりと

特に食事前、トイレの後、調理前後は、石けんでよく洗い流水で十分に流しましょう。

※アルコール消毒は、ノロウイルスにあまり効果がないと言われています。

②人からの感染を防ぐ

ノロウイルスが流行する冬期は、嘔吐物や乳幼児や高齢者の下痢便に大量のウイルスが含まれていることがありますので、おむつ等の取り扱いには十分注意しましょう。

ノロウイルス胃腸炎

■感染経路

①人からの感染

患者の便や吐物から人の手などを介して二次感染する場合。また家庭や施設内などでの飛沫などにより感染する場合など。

②食品からの感染

感染した人が調理などをして汚染された食品を食べた場合。また、ウイルスの蓄積した加熱不十分な二枚貝などを食べた場合など。

▼ 具体的な方法

処理する時は使い捨てのマスクや手袋、エプロンなどを身に付け、ウイルスが飛び散らないようにペーパータオルなどで静かに拭き取る。次に、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）で浸すように床を拭き取り、水拭きをする。汚れたおむつ、拭き取りに使用したペーパータオルや手袋などはビニール袋に密閉して廃棄する。処理をした後は十分に換気をする。

③ 食品からの感染を防ぐ

▼ 加熱して食べる食材は中心部までしっかりと「加熱」をして食べましょう。

▼ 調理器具や調理台は「消毒」していつも清潔にしましょう。

以上のことをふまえ、皆さん一人ひとりの心がけで健康に冬を過ぎましょう。

20歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったときや病気やケガなどいざというときの生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

保険料を未納のまま放置すると、年金を受け取ることができな

い場合があります。保険料を納めることが困難な場合は、納付猶予や学生納付特例の申請を行うことができますのでご利用ください。

国民年金のポイント

◎ 将来の大きな支えになります

国民年金は二十歳から六十歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。

国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

◎ 老後のためだけのものではありません

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子」のある配偶者）や「子」が受け取れます。

「学生納付特例制度」と

「納付猶予制度」

▼ 「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門

学校、専修学校及び各種学校（修業年限一年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

▼ 「納付猶予制度」

学生でない五十歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

国民年金の納付には口座振替がご利用になれます。口座振替をご利用いただくと、保険料が自動的に引き落とされるので金融機関などに行く手間が省けるうえ、納め忘れもなく、とても便利です。

また、口座振替には、当月分保険料を当月末に振替納付することにより、月々五十円割引される早割制度や、現金納付よりも割引額が多い六ヵ月前納・一年前納・二年前納もあり、大変お得です。

口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参のうえ、ご希望の金融機関または年金事務所へお申し出ください。

【問合せ】

高知西年金事務所

☎ 0881-87511717

梶原町役場総務課住民係

☎ 08891651111

2月の行事予定

5日(日) 梶原消防団・女性消防隊出初式

11日(土) 環境整備デイ・小学校学習発表会

15日(水) 人権相談・行政相談(10:00~15:00)

16日(木) 所得申告受付開始

20日(月) 梶原町交通安全の日



お知らせ

申告書や申請書等には マイナンバーの記載が必要です!!


社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い、

申告手続などには



マイナンバーの記載

+



本人確認書類の 提示又は写しの添付 が必要です

本人確認書類

◆ マイナンバーカード（個人番号カード）をお持ちの方は

- マイナンバーカードだけで、本人確認（番号確認と身元確認）が可能です。
- ご自宅等から e-Tax で送信すれば、本人確認書類の提示又は写しの提出が不要です。

◆ マイナンバーカードをお持ちでない方は

番号確認書類	+	身元確認書類
<p>《ご本人のマイナンバーを確認できる書類》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通知カード ● 住民票の写し又は住民票記載事項証明書（マイナンバーの記載があるものに限りです。） などのうちいずれか1つ 		<p>《記載したマイナンバーの持ち主であることを確認できる書類》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転免許証 ● 公的医療保険の被保険者証 ● パスポート ● 身体障害者手帳 ● 在留カード などのうちいずれか1つ

国税に関するマイナンバー制度の最新情報

国税庁ホームページのトップページ上段の [社会保険・税番号制度<マイナンバー>](http://www.nta.go.jp/mynumberinfo/index.htm) をクリック
<http://www.nta.go.jp/mynumberinfo/index.htm>

 国税局・税務署

2月の保健福祉支援センター行事予定

2日(木) 松原サテライト	9日(木) 越知面デイ友の会	17日(金) 東区いきいき
3日(金) 初瀬いきいき	15日(水) 人権・行政相談(栲原病院3階)	23日(木) 西区いきいき(下西の川)
7日(火) 四万川託老所	16日(木) 愛育相談	28日(火) 四万川いきいき

- 毎週月曜日…予防接種（四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎）
- 毎週水曜日…育児サークル（支援センター4F 講義室） ○川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…21日(火)
- ゆすっ子相談センター相談日…7日(火)午後、14日(火)午後、21日(火)終日

文 芸



柚子の木俳句会

弓なりに室戸足摺冬日燦さんざん

広瀬 みえ

大鳥居石路咲く道へつづきけり

西村由利子

薪割りの二人にかかる冬時雨

西森 誠子

何語やら熊野古道の冬もみじ

中越 郁子

寒風にイルミネーションほつとして

中越 緑

立ち話時雨に先をせかさされる

中平 忠雄

旅人と山降り来たる寒鴉

渡辺 瑞枝

野良仕事時雨にあって頬かぶり

中越 秋子

暁あけぼのを神渡し割き岩場行く

広瀬 卓雄

杉の子俳句会

水鳥を入江に浮かべ川眠る

下元 廣幸

七草の芹を貰って品揃う

吉村 招山

日向ぼこ大人の世界子の世界

野中たねお

霜柱踏んで夢みる甲子園

影浦 鉄心

散りてなお命はぐぐむ冬木の芽
宝船門ではほ笑む石の神
陽を受けて輝いている寒椿

西村 幸枝
内野 純子

旅日記茶の花日和つづきけり

西村 蓉子

番茶飲む湯呑両手に暖を取り

大崎みなと

短日や木の間隠れに走るバス

久岡 智子

病室の窓に音なき時雨かな

古野 節子

落葉樹日々痩せ冬の天を衝く

下村 弘花

さつぱりと上京の孫寒椿

下元 澄子

ためらひて閉じまたひらく時雨傘

ヒネ・パンビ

幼子の足裏の湿り冬ぬくし

宮崎真由子

仕舞い荷の藁束ぬらす夕時雨

宇都宮由利子

新米を詰めて袋の耳正す

中越 律子

寒雲を赤く染めゆく夕日影

瀬戸口登貴恵

時雨るるや温泉街の蛇の目傘

西村 智子

日の射して銀色の冬木立

温地あゆみ

岩沖の鶏のカラフル新暦

千光寺昭子

耳に在る大和の音色神楽笛

岩元 芙美

御仏と静かに過す三ヶ日

岩井 章子

寄付のお礼

このほど、次の方からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

広報へのご寄付

梶原 和矩様 (横須賀市)

川野 剛一様 (西予市)

間宮三喜男様 (藤沢市)

編集後記

皆さんあけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願ひします。昨年、国内、国外共に大地震や甚大な台風災害が発生する中で、本町では台風の直撃も免れ、大きな被害が発生しなかったことに胸をなでおろしたことでした。

何事もなく平穏に日々を送れることのありがたさに心から感謝するばかりです。

11月には、気象に大きな影響を与えるといわれている地球温暖化の防止に向けてパリ協定も発効し、世界全体での温暖化ガス削減対策等への取り組みが始まることになりました。

個人的にも無理、ムラ、無駄をなくし、自然体で削減に貢献できるよう日ごろの生活を見直していかなければならないと思っています。梶原をはじめとする全国各地の田舎で長年守られてきた暮らしや考え方が人類を救う一助となるのではないのでしょうか。

修行僧のように冬の早朝黙々と雪かきをしながら、育んできた勤勉さや土地柄、文化をこれからも大切に、次代へと引き継いでいくために、私たちはどうあるべきなのか考えていきたいと思ひます。今年が穏やかで、皆さんがそれぞれ幸福をかみしめられる素敵な年となることを心から祈っています。

広報編集委員



梶原こども園だより

乳児組参観日

12月3日(土)は、幼児組の参観日「お楽しみ会」でした。踊りやお話遊びをお家の人の前で発表しました。嬉しかったり恥ずかしかったり、いろんな思いで胸をドキドキさせながら、友達と一緒に頑張りました。

「お楽しみ会」は、子どもたちが主体となって楽しめるよう導入し、表現遊びへとつながるよう取り組みました。発達段階に合わせた内容や、お話のイメージの中で役になって関わり、楽しさを感じる事ができるよう各組それぞれ進めてきました。頑張った成果を見てもらい、子どもたちも満足感を味わえた「お楽しみ会」の発表でした。



おむすびころりん
(ぞうぐみ：5歳児)



なっとうたいそう
(きりんぐみ：4歳児)



はらべこあむし
(ばんだぐみ：3歳児)

絵本の読み聞かせ

こども園では、秋の読書週間に合わせて、保護者による絵本の読み聞かせも行っており、今年で11年目になりました。この活動は保護者の方に園に来てもらい、自分の子どものクラスで絵本を読み聞かせてもらうものです。保護者の方からは今年、「みんなが静かに聞いてくれたので緊張もしましたが、真剣に聞く姿に嬉しく、驚かされました。読み終わった後に「みじか〜い」と言う声がたくさんあったので、みんな絵本が好きなんだなと思いました。」全員が嬉しそうに聞いてくれて読みがいがありました。「いろいろな本を、いろいろな人に読んでもらえて、子どもたちも楽しいだろうなと思いました。」などの感想をいただきました。



人権の花

12月8日(木)、人権擁護委員の皆さんと一緒に幼児組が「人権の花」を植えました。花植えを行い、育てることを通じて花が成長していく様子を見ながら花の命について考えたり、人や動物へのやさしさを持ち、命あるすべてのものに思いやりの心が育ってほしいという願いが込められています。



たけな 1月号 No.703

発行所/高知県高岡郡梶原町役場
☎0889-65-1111
URL <http://www.town.yusuhara.kochi.jp/>
発行 兼 編集/梶原町役場 印刷所/梶中島出版印刷